

# あかるいまち21 元気に生協強化月間

No.1263 2019年10月2日 組合員活動推進課 082-532-1264

	10月累計	2019年度
組合員ふやし	2人	683人
出資金ふやし	9万円	5,931万円
純増	▲10万円	874万円

## 日本高齢者大会に2000名集う！！ 原発ゼロへの道を！

第33回日本高齢者大会 | N福島が、9/25~26に開催されました。広島県高齢期運動連絡会は塚田会長を団長に、私達広島中央保健生協の4名を含め、総勢19名で9/24朝8時に広島を出発して郡山へ。到着後「蔵のまち喜多方」を歩き、小原酒造見学をして、磐梯山と猪苗代湖を一望するホテルに着きました。25日の午前中はエメラルドグリーンやコバルトグリーンに輝く五色沼湖を散策して、全体会場の郡山市ユラックス熱海に入りました。全体会は基調報告、記念公演は「原発事故から8年半！ふくしまの現実と原発ゼロへの道」と題して、安齋育郎さんでした。お話は、国連の温暖化サミットでのグレタ・トゥーンベリさんのことから始まり、1.福島における原発反対運動と私。2.2011年3月11日からのかわり。3.福島の現在。4.福島の未来・私たちの未来と資料を示しながら、学習になる楽しいものでした。「みんなで築こう！憲法輝く原発ゼロの日本。長寿をともに喜びあえる社会」の大会アピール。そして次回開催地の長野県に大会旗が引き継がれました。夜の企画も6つのテーマがあり、それぞれ分かれて参加し、学習を深めました。2日目は事故原発周辺巡る、移動分科会に全員で参加しました。8時から6時間半バスに乗り、DVDを見たり、ガイドの方のお話を聞きながら、原発事故被災地を見させてもらいました。途中昼食時に、40年来原発反対闘争をされてきた、宝鏡寺の早川住職の奥様が事故時の状況、今なお続いている被害の深刻さを話され、このことに誰も責任を取らない司法の判決は絶対に納得できないと、怒りを込められたことに共感しました。福島を自分の目で見て、話を聞いて、福島を忘れない、福島を繰り返さない、原発ゼロへの道を感じる分科会でした。3日間お揃いの帽子を目印に、何事もなくみんな元気に帰りました。(寄稿は参加者の浅井理事)



## 西区西支部2回目の訪問行動で加入1と手配り協力者3名！

9/27(金)西区西支部の訪問行動があり、庚午北1~2丁目の組合員を訪問しました。この日は、「いっせい訪問行動目標」の1つ「1万人訪問達成」まであと19件というところからのスタートで、出発前からの活気も十分でした。5組13名(組合員5名・職員6名)で出発し、結果、訪問数63件対話数27件で見事1万人訪問目標達成を決めた行動となりました。また、対話率もよく、対話が進めば成果もあるもので、なんとなんとこの行動で、手配りさん3名、名義変更による加入1件が



あり、びっくり。最後のまとめの会で平山支部長さんは「長年訪問行動をやってきたけど、こんな行動ははじめて！一緒に回ってくれた介護事業部のS君も活躍してくれたし♡よかった〜」と締めくくられ、みんなで達成感を共有しました。西支部は20日に続く2回目の訪問行動で、西区西支部の一連の行動で加入3件、手配り協力者5名の成果が出ています。地域の方に広く呼び掛けた「安心サポート講座」やかもめセンターの有効活用の取り組みなど、継続した支部の活動＝「見せる化」が実を結んだものと思いたいですね。